

受理日	血対番号	感染症(PT)	出典	概要
2005/10/27	50141	BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症 情報/詳しい情報)	BSE—米国: 否定 情報源: APHISニュース Deputy administrator Animal & Plant Health Inspection Service発表 2005年8月3日, アイオワ州AmesにあるU.S. Department of Agriculture's National Veterinary Services Laboratories (NVSL)は, 2005年7月27日の報告した中間検査の結果, BSE 陰性であると発表した。英国WeybridgeにあるVeterinary Laboratories Agencyでの検査結果も陰性であった。さらなる検 査が実施されている。(後略) < http://www.aphis.usda.gov/lpa/news/2005/08/negative_tt.html > (2005年8月4日掲載)
2005/10/27	50143	BSE	USDA 2005 4月	カナダにおけるBSE発生状況。
2005/9/22	50104	BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて, BSEに感染したヤギが1990年には存在 していた。
2005/9/22	50104	BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果, 陽性であることが判明し たことから, 欧州委員会は, ヤギの検査数を4倍に増やす計画 である
2005/11/25	50171	BSE	USDA/050429	米国USDA及びAPHISチームはカナダにおいてBSE症例の疫学調 査の徹底的な見直しを行い, 共通の原因をしてBSE汚染飼料 を消費したことによるかもしれないと報告。
2005/11/25	50171	BSE	USDA/News Release 0232.05	2005年6月アメリカ原産のウシでの初めてのBSE報告。
2005/10/27	50141	BSE	FDA/FDA News	米FDA, BSEに関する調査の結果を報告 米農務省(USDA)の動植物衛生検査部(APHIS)およびFDA は, 2005年6月に牛海綿状脳症(BSE)に検査陽性となったウシ に関する調査を完了した。本症例はテキサスの牧場で生まれ 育ち, 死亡当時は約12才で, 1997年の飼料禁止令の実施以前 に生まれていた。2004年11月に家畜販売業者を介して販売さ れ, 食品加工工場に輸送されたが, 到着時に死亡しており, そ の後BSE検査が行われたペットフード工場に輸送され, 使用さ れずに2004年11月に死骸が処分された。調査期間中, USDA はこの症例が飼育されていた群の計67頭に対しBSE検査を実 施したが, 全頭陰性であったこと, 現在までに米国では過去 14ヵ月間に45万頭以上が検査され, 2頭のみがBSE陽性である と確認されたことなどについて記載。(2005年8月30日付け) 【JAPIC Daily Mail No.1054(2005.8.31)】
2005/10/27	50145	BSE	USDA 2005年 8月	米国における2例目のBSE例に関する調査報告。本調査では, このウシは反芻動物由来飼料の使用禁止措置前の数年前に産 まれており感染ウシの産生牧場のウシで生存が確認されたのは2 頭のみであり2頭ともBSEの可能性はないことが確認された。
2005/10/31	50150	BSE	USDA News Release No.0232.05	米国農務省(USDA)はBSE検査結果と新しいBSEの確証的な 検査プロトコルを公表した。BSE迅速スクリーニングが不確実な 結果の場合, IHCとウェスタンブロット法確認試験の両方を実施し これらいずれかの結果が陽性であるならば, サンプルは陽性をみ なされることとなる。
2005/10/27	50143	BSE	New York State Department ofHealth	慢性磨耗病(CWD)についてニューヨーク州が提供する注意情 報。2005年3月現在で北米に限定され, 家畜, ヒトへの伝播は 確認されていないがシカに触らない, 危険部位と接触しない等 の注意が記載。
2005/9/22	50104	変異型クロイツ フェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同 ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
2005/9/26	50109	変異型クロイツ フェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく, 英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症 例が確定された。